

# 「北海道のまちづくり (20時間)」 ~国際交流を生かしたまちづくり (6時間) ~

授業者 市川 洋二

## 1 教材の特徴

### 学習内容の背景

1. 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～すべての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)(中教審答申, 2021)
2. Learning Compass2030 (OECD, 2019)
3. 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(中教審答申, 2016)
4. OECD 生徒の学習到達度調査 (PISA2018) のポイント (国立教育政策研究所, 2019)
5. 小学校学習指導要領解説社会編 (H29 告示)

急激に変化する時代の中で、多様な他者と協働しながら様々な社会的変化を前向きに乗り越え、人間としての感性を働かせてより豊かな社会を創造する資質・能力の育成が求められています。<sup>1</sup> また、持続可能な社会の実現という国際的観点から、「主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる力」の重要性が指摘されています。<sup>2</sup>

このような資質・能力を育てていくために、学習指導要領に示される指導事項を着実に実施していくことが重要です。そのためには、「資料から読み取った情報を基にして社会的現象の特色や意味などについて比較したり関連付けたり多面的・多角的に考察したりして表現する力の育成が不十分<sup>3</sup>」であることや、「複数の課題文から必要な情報を探し出したり、それぞれの意図を考えながら、主張や情報の質と信憑性を評価した上で、自分がどう対処するかを説明したりする<sup>4</sup>」など、課題を追究し解決する力を高める学習活動の充実を図る必要があります。

つまり、これまでの社会科においても重点として考えられてきた、社会との関わりを意識して課題を捉え、資料の読み取りや見学、聞き取り等の調査活動などを基に、多面的・多角的に考察し、判断する能力の育成や、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う学びの改善がより一層重要視されていると考えられます。

学習指導要領において、中学校との接続を考慮に枠組みが整理され、「知識や思考力等を基盤として社会の在り方や人間としての生き方について選択・判断する力」「自国の動向とグローバルな動向を横断的・相互的に捉えて、現代的な諸課題を歴史的に考察する力」「持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸課題や地域課題を解決しようとする態度」の育成を基本方針として教育内容の改善が図られていることや、社会的な見方・考え方を働かせ、概念等に関する知識との関係を深め、社会に見られる課題の把握と、その解決に向けて広い視野から構想(選択・判断)する力を育む必要性について示されていることも本実践を計画した背景となっています。<sup>5</sup>

そこで、本実践においては、「時間、空間、相互関係などの視点に着目し事実等に関する知識を習得する<sup>5</sup>」学習活動を通して、事実的知識(表1)を身に付け、それらを「比較、関連付けることによって考察・構想し、社会的現象の特色や意味、理論などの概念等に関する知識を身に付ける<sup>5</sup>」ことにより、価値関係の知識へと高める学習過程の確立を、単元設計における中心的課題としています。<sup>6</sup>

また、中教審答申(2016)において見直しの必要性があると示され、現行の学習指導要領において充実された伝統・文化等に関する理解を深め、グローバル化への対応と持続可能な社会の形成者として必要な資質・能力の基礎を育むために、「日本と世界の生活・文化の多様性の理解」を主題として、第4学年「北海道のまちづくり」を単元構成しました。<sup>5</sup> 小単元「国際交流を生かしたまちづくり」の学習では、国際交流の発展と人々の生活を関連付けて考えることができるように、ニセコ町の特色を学習教材として授業実践を行いました。

事実関係の知識	記述的知識	社会的現象の現象に関する知識
	分析的知識	社会的現象相互の関係を述べた知識
価値関係の知識	説明的知識	社会的現象間の因果関係と学習課題を結びつけた知識
	概念的知識	社会的現象を一般化し法別性を表す知識
価値関係の知識	規範的知識	事実関係の知識に基づき、選択・判断、意思決定された知識
	規範的知識	事実関係の知識に基づき、選択・判断、意思決定された知識

表1 「小学校社会科の授業分析」(岩田 1993) 「社会科授業構成の理論と方法」(森分 1978)を参考に実践者作成

## 本実践で育成する資質・能力

6. 「小学校社会科の授業分析」(岩田一彦 1993) 「社会科授業構成の理論と方法」(森分孝治 1978)

### 単元で鍛える見方・考え方

北海道のまちづくりの特色や、その地域で活動する人々の工夫や願いに着目し、自分たちの住む地域と比較したり、産業の発展や人々の生活の変化と関連付けたりすることによって、地域社会のよりよい発展について総合的に考察する。

## 本校の研究との関わり

### 「一人一人の子供が他者とともに自己調整する学び」を実現する教師の支援

7. 概念地図作成法 (concept mapping) Novak&Gowin, 1984

8. 導入の概念地図の諸要素と択一式テスト成績との関係 (菅川順 2009)

本校の研究主題「一人一人の子供が他者とともに自己調整する学び」を実現するための支援として、本実践では「リンクラベル」を作成する学習活動を設定しています。Novak, Gowinらは、関係のある知識同士を線(リンク)で結び、それらの関係(リンクラベル)をその線上に示す方法を用いることによって、知識の精緻化と体制化を図り、概念的知識を体系的にまとめることができるようになることを明らかにしています。<sup>7</sup> 本実践では、「リンクラベル(本実践では「ラベル」として子供たちと共有)」を、社会的現象の特色と意味を捉える視点として位置付け、獲得した知識や概念間の関係や意味をより明確に把握したり、他者と共有したりするツールとして活用します。

さらに、Novak はリンクラベルを作成し概念的知識間の関係性に注目することが、他の学習に関する自己効力感につながることを明らかにし、その結果として学習の転移が起こりえることを示唆しています。このことから、リンクラベルを作成する行為自体が知識間の関係の把握に促進的な役割を担い、関連する諸知識を精緻化したり、客観的にそのリンクラベルを作成する行為(ラベリング)を再認識したりすることによって、より確かな学びとして定着することができるようになると思っています。<sup>8</sup>

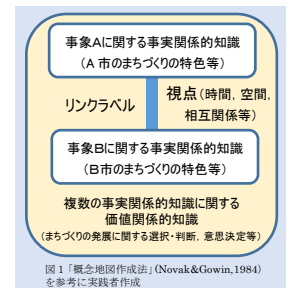


図1 「概念地図作成法」(Novak&Gowin, 1984)を参考に実践者作成

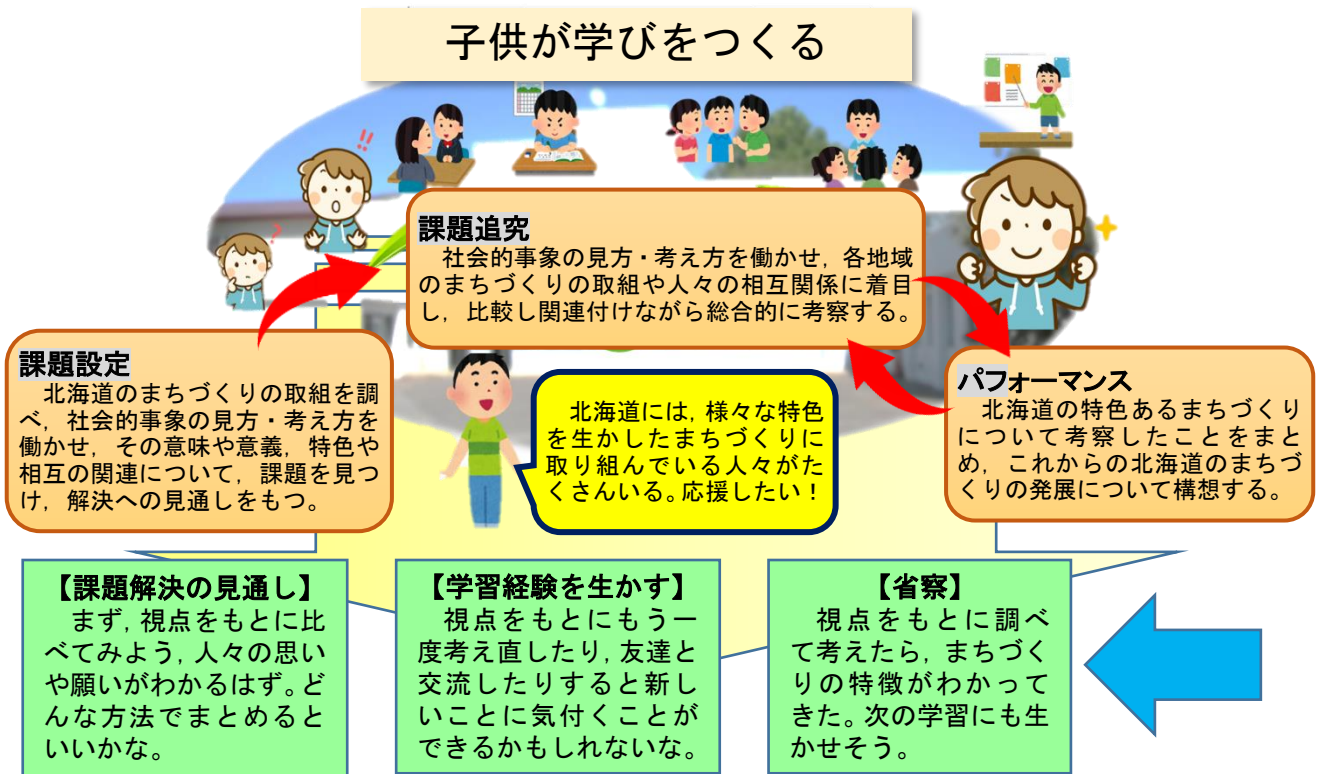
## 2 目指す子供の姿

	課題設定	課題追究	パフォーマンス
社会科が 目指す ゴールの姿	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を捉えたり、社会に見られる課題を把握したりすることで、学習問題を立て、課題解決に向けての見通しをもつ。	社会的事象の見方・考え方を働かせながら、課題について探究的に調べたり、考察したりする。 課題追究のための構想(選択・判断)やその過程をモニタリングすることで、課題に応じた追究の方法を選択したり、対話的に課題を解決したりする。	資料から読み取ったことや、多面的・多角的に考察、調査、構想したことを基に、論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりする。
社会科が目 指す 4年生の姿	日常生活の中での出来事や調査活動、写真やグラフなどの具体的資料を基に、社会的事象の見方・考え方を働かせ、分析的に考察し、問題意識や課題解決への見通しをもつ。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して探究的に調べ、比較・分類したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすることによって、総合的に考察したりする。 課題追究の視点や方法を構想(選択・判断)し、その過程を客観的に捉えることで、学びの価値を実感したり、次の学習に生かそうとしたりする。	社会的事象の意味や特色についての理解や獲得した知識や概念等の相互の関連など、多様な視点から分析し、総合的に考察してわかったことをまとめたり、自らの社会への関わり方について構想(選択・判断)したりする。

### 本実践 の 目的

社会的事象の見方・考え方を働かせ、地域のまちづくりに見られる課題を把握し、よりよい発展について構想(選択・判断)する力の育成

### 本実践における「一人一人の子供が他者ととも自己調整する学び」



## 3 単元の目標

北海道のまちづくりの特色や、その地域で活動する人々の思いや願いに着目し、産業の発展や人々の生活の変化と関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりすることによって、北海道のよりよい発展について考えることができるようにする。

### 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
北海道の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや産業の発展に努めていることを理解している。 調査活動や地図等の資料で調べ、必要な情報をまとめている。	北海道の特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、判断したことを表現している。	北海道の特色ある地域の様子について理解したことを基に、主体的に問題解決しようとしたり、社会生活に生かそうとしたりしている。

# 単元の学びのデザイン

社会的事象の見方・考え方

## 学びの視点

- ・土地ラベル(位置, 地形, 分布, 自然, 気候等)
- ・時間ラベル(変化, 発展, 維持, 計画, 背景, 持続可能性, SDGs等)
- ・人・関係ラベル(工夫, 努力, 思い, 願い, 協力, 多様性, 共生等)

## 学びの方法

- ・比較(集めた情報を分類し並べる, 自分たちの住む地域と比べる等)
- ・関連(産業と生活の変化, 地域の特色の成り立ちとまちづくりの仕組み等)
- ・総合(産業の振興にかけると人々の願い, まちづくりの発展と人々の共生等)

# 「知る・わかる」から「考える」授業設計

「知識の成長」を促す自己調整

社会的事象の特色と意味を捉える「土地」「時間」「人・関係」など、課題追究のための視点(ラベル)の作成



新たな課題解決に向けて構想の設定



## まちづくりの特色を把握する力

知る → わかる → 考える

#家具づくりの歴史 #工夫 #人々の思い #願い

知る → わかる → 考える

#国際化の背景 #人々の協力 #異文化理解 #多文化共生

知る → わかる → 考える

#自然環境 #環境保全 #努力 #維持 #発展 #持続可能性

知りたい → わかった → 考えよう

<概念探究過程>(岩田 1991)  
「知る」→社会的事象の存在認識  
「わかる」→事象間の関係認識  
☆ 事実関係の知識の獲得を目標とする学習過程  
<価値探究過程>  
「考える」→価値判断, 意思決定  
☆ 価値関係の知識の獲得を目標とする学習過程

Chromebook (オンライン情報共有ツール)を活用した対話的な学び



## まちづくりの発展を構想する力

「間違いの少ない, 説明可能なより大きな知識や理論の獲得(「知識の変革的成長理論」森分 1984)」を本実践においては知識の成長と定義しています。  
多様な視点に着目し, まちづくりの特色やその意味を調べ考察し, 説明できない問題を追究することで, 新しい知識や概念が形成され, 説明可能な範囲が拡大していきます。獲得した知識や概念は次の課題設定や解決への見通しとなり, 学びの視点や方法を選択, 修正します。説明可能となった知識は発展的に成長し, 自ら学びの成果や価値にも気付くことができるようになります。このような学習過程の中で省察したことを基に, 新たな課題解決に向けて構想する力を培うことができると考えています。

### 課題解決の見通し

- ・ 獲得した知識や概念を基に, 課題を把握し, 課題解決の見通しをもって, 追究過程を進展させる。

### 学習経験の活用

- ・ 獲得した知識や概念を基に, 課題解決のために必要な学びの視点や方法を選択したり, 修正したりする。

### 省察

- ・ 学びの視点と方法, 学習方略の成果と価値を整理・分析し, 新たな課題解決に向けて構想する。

考えること	北海道のまちづくりの特色や, その地域で活動する人々の思いや願いなどの視点に着目しながら, これからの北海道の産業と地域社会のよりよい発展について総合的に考える。	国際交流を生かしたのまちづくりの特色や, その地域で活動する人々の#思いや#願いなどの視点に着目しながら, 北海道のよりよい#発展について総合的に考える。	自然を生かしたのまちづくりの特色や, その地域で活動する人々の#思いや#願いなどの視点に着目しながら, 北海道のよりよい#発展について総合的に考える。
わかること	・#地理的特徴, #自然環境を生かして, 家具づくりが盛ん。 ・家具生産#発展の#歴史と#工夫, 木材#資源を守り, 伝統工芸を#世界に広めようと#努力している。	・#自然環境を生かした観光産業が#発展。 ・ニセコ町の#国際交流の#事業と#対策によって, 周辺地域の国際化が進んでいる。 ・#異文化交流, #多文化共生の現状, 人々の思い	・知床(世界自然遺産)観光, 農水産業など自然環境を生かした産業が#継続, #発展してきた。 ・100m運動など自然を守り, 育ててきた#歴史 ・自然と人間との#共生と#SDGsのための#努力
調べる(知る)こと	・旭川市や関係する#地域の位置と周辺の自然環境 ・家具工芸センターの家具生産#技術, 販売の現状 ・他地域の伝統工芸等	・ニセコ町周辺の#自然環境, #観光, #人口#変化 ・国際交流#事業とまちの人々の#協力 ・各地域の姉妹・友好都市, 国旗等	・斜里町の位置と周辺の#自然環境とその#変化 ・知床自然センターなど環境#保全の#活動 ・他地域の環境保全の取組等
資料	・Googlemap 動画「マイタウン旭川(旭川市)」・旭川市家具づくり人憲章 旭川地域における家具, 装備品製造事務所及び出荷額の推移 工芸センターの刊行物, 聞き取り調査(Eメール)等	・Googlemap 二セコ町HP ・ラジオニセコHP ・ニセコ高校HP ・音声「ラジオ絵本ワールド」・ニセコ町まちづくり基本条例 外国人と考えるまちづくり議事録 国際交流員の聞き取り調査(ZOOM)等	・Googlemap 斜里町HP ・知床自然センターHP ・しれとこ100mトラスト運動の森トラストHP ・北海道応援団会議刊行物「創る」・知床自然センター聞き取り調査(電話)等

# 4 単元計画

学習課題と 時数	○主な学習活動 ・予想される児童の反応 #着目する視点(ラベル)	☆教師の支援(課題設定、課題追究、パフォーマンス) ※実践資料と子供たちの情報共有ツールの記述(GoogleKeep, Padlet)
<p>オリエンテーション① 大単元テーマ 北海道の特色あるまちづくりを調べ、これからの発展について考えよう。</p>	<p>○「市町村キャッチフレーズ」「北海道応援団会議」「鈴木知事のメッセージ」「函館市民憲章」などの資料を基に、北海道の各市町村の特色を調べる。</p> <p>○北海道地図(オンライン情報共有ツール)を活用し、各市町村の位置と特色を確かめる。</p> <p>・様々な特色をもった地域があることがわかった。いろいろな視点を基にまちづくりの特色をまとめ、これからの北海道の発展について考えていこう。</p>	<p>☆課 多様な視点(ラベル)に着目しながら主体的に課題追究することができるよう、様々な特色を生かした北海道のまちづくりに関する資料を提示する。</p> <p>☆追 調べてわかったことや考えたことを他者と共有しながらまとめることができるように、Chromebookのオンライン情報共有ツール(Padlet)を活用する。</p>  <p>Padlet(地図)で位置と特色を関連付け</p>  <p>Padlet(振り返り)で考えを共有</p> <p>ふりかえり 今、北海道で大切にしていること、毎日やっていること、いま北海道で足りないことをもっともっと良くして行きたい!! みなみ</p> <p>北海道のまちづくりこれから調べたい!!学んでいきたい!!紗弥</p> <p>・その地域にしかない特別なものを調べたい ・歴史や有名な人物、その地域出身の有名な人を知りたい ・キャッチフレーズをもっと調べたい</p> <p>「コメント」「いいね」機能で対話的に交流</p> <p>saemano 2ヶ月 有名な人を知りたいのはおもしろそう #地域 #有名</p>
<p>旭川市のまちづくり⑥ 単元テーマ 旭川市の家具づくりの歴史や人々の思いや願いを調べ、これからの発展について考えよう。</p>	<p>○地理的特徴や自然環境、家具の生産量、歴史を調べ、旭川家具を広める人々の思いや願いを考える。</p> <p>・旭川家具を世界に広めよう #努力している。#資源を守り、家具を大切にしてほしいという #願いがある。</p> <p>○旭川市と他地域の伝統工芸を生かしたまちづくりについて CM 動画のナレーションにまとめ、これからの伝統工芸を生かしたまちづくりの発展について考える。</p> <p>・これまでの学びを通して作成したラベルを使って、次のまちづくりの学びに生かそう。自己調整</p>	<p>☆追 多様な視点に着目し、伝統工芸の発展に関する社会的事象や人々の取組を主体的に調べ、課題追究できるように、工芸センターに問い合わせ(メール)する活動を設定する。</p> <p>☆パ 伝統工芸を生かしたまちづくりの発展について自分なりの考えをもつことができるように、多様な視点を基に他地域のまちづくりと比較、関連付けてまとめたり、説明したりする活動を設定する。</p>  <p>GoogleKeepをノートとして使用 ラベル機能を活用し 視点を整理</p> <p>ふりかえり 今回の学習で学んだこと 旭川市は本などの資源が豊富で家具づくりの産地として有名なことがわかりました。そして旭川市では家具を作る会社が昔の半分になっていることがわかりました旭川市の家具の出荷額は300億から100億に減っていることがわかって旭川市の家具の木材がほとんど輸入された木材ということもわかりました。そして家具職人さんは1つ1つ安全に正確に作っていることがわかりました。</p> <p>#工夫 #努力 #変化</p> <p>「#」でラベル機能を補完 視点を視覚的に共有</p> <p>紗弥 布を貼るのもシワがつかないように手作業だったもんね。</p> <p>kanaminishimura 2ヶ月 #安全 やっぱ安全第一だね! #正確</p>
<p>公開単元 ニセコ町の特色を調べる計画を立てよう①</p>	<p>○地図(情報共有ツール)、人口変化のグラフ、ニセコ町観光PR動画等を活用し、着目する視点や学習問題、学習計画をつくり、単元全体の見通しをもつ。</p> <p>・#自然を生かした #観光が特色、ニセコ在住の外国人が増加している</p> <p>・旭川市で学んだように国際交流の #歴史や人々の #願いを知りたい。</p> <p>ニセコ町の国際交流の取組や人々の思いや願いを調べ、これからの発展について考えよう。</p>	<p>☆課 地理的特徴や観光産業、人口動態等の資料を提示し、子供たちの気付きや問題意識を基に学習問題や学習計画をつくる。</p> <p>☆課 前単元の学習を振り返り、本単元の見通しを確かめながら、本単元で着目する視点について共通理解を図る。</p>  <p>ラベルカードを活用した板書の工夫</p> <p>グラフを見て気づいたこと 考える</p> <p>・外国人の数がぐく上がっている、外国人が自然好き? ・平成20年から30、40の間に外国人の人口はぐく増えていく ・日本人を外国人も増えている ・平成18年から増え ・がたがた、増えている ・平成28年時点日本人と外国人の人口は定まっている。</p> <p>課題把握「事象や意見にラベリング」 課題追究「視点を基に意見を考える」</p> <p>saemano 1ヶ月 もっと調べてみよう #活動</p> <p>もう少し調べたら国際交流員という人がいるらしくニセコ町のために活動していることがわかったから国際交流員の取り組みについて調べたい!!</p>
<p>国際交流がさかんな理由を調べよう①</p>  	<p>○前時の学習とニセコ FRIENDS の国際交流の取組(語学講座、絵本ワールド等)を関連付けながら調べ、外国の人々との交流が盛んな理由を考える。</p> <p>・ニセコ FRIENDS の #事業で国際交流が盛んになり、人々の #つながりが生まれた。日本人と外国人の #協力もあるのかな。</p> <p>・旭川の学習のように、国際交流員に直接聞き取り調査してみたいな。</p>	<p>☆課 国際交流事業の写真や動画、グラフ等の資料を使って、ニセコ町の国際交流の取組を調べる活動を通して、本単元で重要となる視点(#協力、#つながり等)に着目させる。</p> <p>☆ 集めた情報に対する疑問もったり、予想したことを交流したりする場を設定し、課題追究の意欲を高める。</p>  <p>共同編集機能を生かした対話的な学びと教師の支援</p> <p>どんな思いでやっているか、私はみんなの役に立ちたい!!と思っているとします #思い</p> <p>市川洋二 1ヶ月 「みんな」って、たとえばどんな人だと思う?</p> <p>追究したいこと・学び方法 ・ニセコ町の魅力を知りたい ・日本人と外国人のつながりを知りたい ・外国人がどうして北海道に住んでいるのかを知りたい</p> <p>市川洋二 1ヶ月 どんな「つながり」があるかなと思う?</p>
<p>国際協力員の仕事を調べよう①</p>  	<p>○ZOOM インタビューを通して、国際交流員の活動内容、役割、思いや願いについて理解を深める。</p> <p>・#思い、願い、苦労など、これまで大事だったラベルは、今回も重要な視点だとわかった。</p> <p>・#対策、事業、協力、つながりなど、国際交流を生かしたまちづくりには、新しい視点が必要だと気付いた。他のグループの国際交流員の聞き取り調査の内容も知りたい。</p>	<p>☆追 ニセコ町の国際交流事業の特色や意味について理解を深めることができるように、自ら設定した視点に基づいた質問を考えたり、疑問や予想を確かめたりする活動(聞き取り調査)を設定する。</p> <p>☆ ニセコ町の国際交流の取組からグローバル化への対策や事業、連携等についても把握できるように、人々の生活と関連付け事象を捉えるよう促す。</p> <p>外国人には日本のことを、日本人には外国のことを知ってほしいと言っていた。→そしてただ単にイベントをやっているのではなく、願い・思い・目的があってやっていることがわかった。</p> <p>#願い #思い #目的</p>  <p>主体的な聞き取り調査活動 (Eメール、ZOOM、電話等)</p> <p>他の市町村には国際交流員がいなくてもいいので他に国際交流員を増やす取り組みしてほしい</p> <p>shutakudo 1ヶ月 #取り組み 住みやすい暮らし</p> <p>市川洋二 1ヶ月 他の市町村に国際交流の取組を増やすためには・・・</p>

<p>国際交流に携わる人々の思いや願いを考えよう①(本時)</p> 	<p>○ 国際交流の取組(ラジオニセコ(絵本ワールド))について調べ、国際交流を進める人々の思いや願いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人だけではなく、ニセコ町民(高校生)も、国際交流に#協力していることがわかった。お互いの#文化を理解することが大切だと気付いた。</li> <li>#異文化理解, 多文化共生など、新しいラベルができた。これから学習でもこのラベルを使って考えてみたい。</li> </ul>	<p>☆追 新しい視点を獲得しながら学習課題に対する自分の考えを更新したり, 対話的に課題追究したりできるよう, 別の立場から国際交流について考える学習課題を提示する。</p> <p>☆ 多様な立場や視点に基づいて考える良さに気付くことができるように, 国際交流に関する取組を人々の相互関係に着目して捉える場を設定する。</p> <div data-bbox="1077 197 1444 302"> <p>本時板書</p>  </div> <div data-bbox="1173 302 1444 392"> <p>外国人の人が日本人と共同するためにどのような活動をしているのかがわかりました。 #交流#協力</p> </div> <div data-bbox="1117 392 1444 515"> <p>ニセコ町は、いろんな工夫をして、外国人とニセコ町民の関係を良くしていることがわかった 僕もラジオを聞いてみたい。 #文化の違い#交流#認め合い</p> </div>
<p>これからの北海道の国際交流の発展を願って②</p> 	<p>○ ニセコ町と他地域の国際交流の取組を比較し、関連付けながら、学習問題について学んだことをまとめ、国際交流の発展について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニセコ町だけではなく、札幌市や函館市、姉妹・友好都市など、北海道全体で国際交流が進められていることがわかった。</li> <li>国際交流を生かしたまちづくりの学習を通して、新しいラベルが見つかった。このラベルを使って他の地域のまちづくりを調べていきたい。</li> </ul>	<p>☆バ 国際交流を生かしたまちづくりの発展について自分なりの意見をもつことができるように、これまでの学習で作成したラベルを基に、他地域と比較し、関連付けてまとめたり、説明したりする学習活動を設定する。</p> <p>☆ 国際交流を進める取組について自分なりの意見をもつことができるように、各地域の姉妹・友好都市や国旗など、北海道とつながりの深い世界の国々や地域の名称、位置、関係などを調べる活動を単元のまとめに位置付ける。</p> <div data-bbox="1165 526 1444 649"> <p>これからは国際交流のことを続けていくにはもっと日本人は外国人のことを外国人は日本人のことを知っていることが大切だということが分かった</p> </div> <div data-bbox="1165 660 1444 784"> <p>国際交流はニセコ以外にもしているところがあるけどまだ国際交流員がニセコ町の近くのまちにいないから国際交流員がもっといろんな地域にいると外国人は助かることを知った</p> </div> <div data-bbox="1165 795 1444 884"> <p>異文化の交流を深めるとそれぞれがお互いを理解して、より暮らしやすくなるんじゃないかと思った。</p> </div> <div data-bbox="1165 896 1444 952"> <p>#異文化理解 #国際交流 #願い #思い#人 #工夫 #協力 #変化 #発展</p> </div>
<p>斜里町のまちづくり⑥ 単元テーマ 斜里町の自然環境を守る取組や人々の思いや願いを調べ、これからの発展について考えよう。</p> 	<p>○ 斜里町の地理的特徴や自然環境、自然環境を守る取組や町の産業の発展に携わる人々の思いや願いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境を守る取組の#努力や、#地域と#産業が#協力して、自然を守り続けていくことが大切だとわかった。( #SDGs# 共生)</li> </ul> <p>○ 斜里町と函館、他地域の自然環境を生かしたまちづくりについてまとめ、これからの発展について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学びを通して作成したラベルを使って、北海道のまちづくりについてまとめよう。自己調整</li> </ul>	<p>☆追 多様な視点に着目しながら、自然環境を生かしたまちづくりに関する取組について、主体的に課題追究できるように、知床自然センターに質問を問い合わせる(電話)活動を設定する。</p> <p>☆バ 自然環境を生かしたまちづくりの発展について、自分なりの考えをもつことができるように、これまでの学習で着目してきた視点を生かして、他地域のまちづくりと比較し、関連付けてまとめたり、説明したりする活動を設定する。</p> <div data-bbox="997 1153 1220 1377"> <p>斜里町の学習を通して自然大切にしているだけじゃなくみんなで最初から作ってきた自然を守ったりしたりしたことがわかったから続けていくにはみんなのきふや思い、情報を伝えあっていくことが大事だと思う。 #思い#発展</p> </div> <div data-bbox="1220 963 1444 1377"> <p>今回学んだこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これからの自然を生かしたまちづくりは日本全国もしくは全世界の人と協力し助け合うことが必要だと思う。</li> <li>これからは自然を体感するだけではなくしっかりと自然を守っていくことが大切だと学びました。</li> <li>そして今回情報を発信しシェアすることがたいせつ</li> <li>これからは今知床や幌加内で行っていることだけでなく続けていくことが重要だし続けていくためには世界中の人が意識して取り組むことが大切だとも学びました。</li> </ul> <p>#自然#世界#守る#意識#シェア</p> </div>
<p>北海道のまちづくりのよさを伝えよう①</p>   	<p>○ 「北海道応援団会議」について調べ、自分たちにできることや、北海道のまちづくりの発展に大切なことを話し合い、自分なりの意見をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学びを生かして、北海道の各地域の様々な特色を生かしたまちづくりについて調べよう。</li> <li>これまでの学習を通して見つけた視点を使うことで、北海道の各地域のまちづくりの特色をまとめ、これからの北海道の発展について、自分なりの意見をもつことができた。</li> </ul> <div data-bbox="311 1736 726 1892">  <p>タイトル</p> <p>北海道の産物や観光資源を応援する活動のイメージ</p> <p>北海道の産物や観光資源を応援する活動のイメージ</p> </div> <div data-bbox="311 1892 726 2027"> <p>北海道のまちづくりの特色について、ラベルを作成しながら学習を進めてきたことによって、自ら応援したい市町村についての資料を選択し、自ら着目する視点を決定し社会的現象の特色や意味を把握しようとする姿が見られるようになりました。また、視点に基づいてわかったことをまとめたり、自分なりの意見をもったりすることができるようになりました。</p> </div>	<p>☆追 これまでの学習で学んだ北海道のまちづくりの特色や、その地域で活動する人々の思いや願いなどの視点に着目しながら、これからの北海道の産業と地域社会のよりよい発展について総合的に考えることができるよう、対話的に単元全体の学びを振り返る時間を保障する。</p> <p>☆バ 北海道のまちづくりの特色と人々の生活の変化と発展に着目し、自分なりの意見をもつことができるよう、「北海道応援団会議」の情報と学んできたことを比較したり関連付けたりしながら、応援したい北海道の市町村や地域を選択する学習活動を設定する。</p> <div data-bbox="750 1713 989 1960"> <p>北海道の色々な場所のまちづくりをべんきょうしてきて、一つ一つの市には思いや願いがあり、その市だけの工夫等があることを知りました。なのでこれからも、自分が住んでいる北海道を守っていきたいと思っています。</p> </div> <div data-bbox="997 1691 1220 1960"> <p>これからの北海道のためにこれまでの学びを振り返ろう</p> <p>北海道はたくさんの市町村があるから今自分たちにできることを全力でやりたい。昔「北海道」っていうところに住んでいるから今自分たちが住んでいるところを守るためにたくさんプロジェクトをやってみよう。それが自分たちがプロジェクトをできるようになりたい。 #思い #自然</p> </div> <div data-bbox="1220 1500 1444 1892"> <p>僕はこの勉強を通して、北海道アンバサダーに近づけたと思います。これからは、もっと他の地域も調べて、本物の北海道アンバサダーに近づいたり、例えば今の知床町にはなにがひつようだとかがっかり北海道の現状を知っておいたほうが良いと思う。そうすれば各地域に足りないものがわかりどこを、何をサポートすればいいのかわかると思えます。そして僕が今できること支援できることをやりたいなと思っています。</p> <p>#サポート #情報収集 #北海道 #今できること #北海道アンバサダー</p> </div>

## 5 本時案 (11/20)

<p>&lt;本時の目標&gt; ニセコ町の国際交流の取組(ラジオ番組「絵本ワールド」等)について調べたことをもとに、国際交流を進める人々の思いや願いについて考えることができるようにする。</p>		
<p>○ 主な学習活動と子供の姿 # 着目する視点(ラベル)</p> <p>○ これまでの学びを振り返る</p> <p>ニセコ町にはたくさんの外国人がくらしでいて、様々な国際交流の取組があることがわかってきたよ。</p> <p>今日は、国際交流員の方々インタビューして、わかったことを話し合おう。</p>	<p>☆ 教師の支援(課題、追究、パフ) ◇ 評価</p> <p>☆ 課 本時の学習に対する見通しをもち、意欲を高めることができるように、全体でこれまで学習したことを確かめる。</p>	
<p>国際交流を進める人々の思いや願いについて考えよう。</p>		
<p>○ 前時のインタビューを通してわかったことや考えたことを比較したり、関連付けたりして、情報を共有し、課題に対する自分の考えをもつ。(Chromebookのオンライン情報共有ツールを活用)</p> <p>ミッチェルさんは、町役場で外国人移住者のために通訳の仕事をしていたよ。#仕組み #役割</p> <p>外国人労働者のために日本語教室をしていた。日本の文化や習慣を伝えていたよ。#協力</p> <p>メイさんは、中国語の通訳や、ニセコ町民のために中国語教室を開いている。#つながり</p> <p>月2回地域の小学校で、子供たちに外国の言葉や文化を紹介したりしているんだって! #地域 #関わり</p> <p>ドイツ人のエマさんは、6年間観光案内所で外国人観光客のサポートをしているよ。#継続 #対策・事業</p> <p>怖がって話しかけても聞いてくれないこともある。それでもずっと続けているなんてすごい。#苦労 #努力</p>	<p>☆ 課 国際交流員の取組について多様な情報を集めることができるように、インタビュー(前時)を通してわかったことについて、グループの友達と情報共有する時間を保障する。</p> <p>☆ 追 国際交流員の思いや願いがわかる情報を比較したり、関連付けたりしながら、本時の課題に対する自分の考えをもつことができるように、Chromebookのオンライン情報共有ツールを使って、全体で情報を共有する場を設定する。</p>	
<p>どうして、ニセコ町の国際交流員の方々はラジオ番組「絵本ワールド」に出演しているのだろう。</p>		
<p>○ これまでの学習で着目した視点(ラベル)をもとに、国際交流に携わる人々の思いや願いを考え、発表する。</p> <p>ラジオで絵本の読み聞かせをするのは、ニセコ町民と仲良くなるためだと思うな。#つながり</p> <p>町役場の人に、移住者のためにやってほしいって頼まれたのかもしれない。#役割 #協力</p> <p>ラジオでイベントの宣伝をするのは、まちの人にたくさん参加してもらいたいと思うな。#影響 #変化</p> <p>自国の文化を紹介してもっと話やすく、なかよくなるためじゃないかな。#努力 #願い</p>	<p>☆ 追 集めた情報の特色や意味について考えたり、総合的に判断したりできるように、自分や友達の考えにラベリングする場を設ける。</p> <p>☆ 本時の課題に対する自分なりの考えをもつことができるように、これまでの学習で使ったラベルを思い出したり、同じ視点に着目している友達の意見を参考にしたりするよう促す。</p> <p>☆ 子供たちが共通の視点に基づいて社会的事象を捉え、対話的に本時の課題を追究できるように、ラベルカードを使って視点を視覚的に把握させる板書を構成する。</p>	
<p>どうして、ニセコ高校の生徒が国際交流員と一緒にラジオ番組を放送しているのだろう。</p>		
<p>○ 国際交流に携わる人々の思いや願いを、多様な視点や立場から捉え直し、自分なりに考えたことを発表する。</p> <p>絵本を通して子供と一緒に異文化に興味をもってもらえるようにしているんだ。#工夫 #つながり</p> <p>コロナでできなくなったことも、ラジオ番組を通して取組が続けられているんだね。#努力 #継続</p> <p>お互いを理解し、認め合うことや、自分の国の文化を伝えることも大事。#異文化理解 #多様性</p> <p>日本とか外国とか関係なく、まちのみんなが協力し、よりよいまちにすることが大切。#協力 #多文化共生</p>	<p>☆ 追 事象の特色や意味について再考したり、課題に対する自分の考えを深めたりすることができるように、多様な立場や視点から事象を捉え直す活動を設定する。(資料「ニセコ高校からの手紙」)</p> <p>◇ ニセコ町の国際交流の取組について調べたことをもとに、国際交流を進める人々の努力や工夫、願いについて考えている。(記述、発言等) 【思・判・表】</p>	
<p>○ 本時の学びを振り返り、まとめる。</p> <p>ニセコ町の国際交流について調べたりラベルを使って意味を考えたりして、前よりもっと詳しく知ることができた。</p> <p>インタビューをして国際交流を進めている人の思いや願いを考えて、初めてわかったことがたくさんあった。</p> <p>外国人、日本人、両方の立場で考えると、今まで知らなかった思いや願いに気付くことができた。</p> <p>クロムを使って友達の考えや、ラベルの理由を知り、自分の考えがさらに深まった。</p> <p>今度、国際交流イベントに参加して、外国の方と話しかけてみよう。</p> <p>他のまちでは、どんな国際交流の取組があるのか調べてみたい!</p>		<p>☆ 本時の課題に対する自分なりの考えをもつことができるように、これまでの学習で学んだことや着目した視点(ラベル)の振り返りを促す。</p> <p>☆ 課 次の学習に対する見通しをもったり、意欲を高めたりできるように、本時の学習の成果や価値を振り返り、全体で交流する場を設定する。</p>

